



コミュにゃん

コミュニティ・スクール通信 NO.14

～ 水辺の楽校～

発行/令和5年10月

発行者/学校教育課

担当/地域学校連携支援マネージャー石谷

狛江市におけるコミュニティ・スクール（CS）は2年目を迎えました。今年度も、その活動や推進の様子を「コミュニティ・スクール通信」と題して、分かりやすくお知らせします。

地域の宝、多摩川と水辺の楽校^{がっこう}

2001年にスタートした狛江水辺の楽校は、開校22周年を迎えています。「魚を網ですくうガサガサ体験教室や川の安全体験教室などを行う自然体験教室」「専門知識を持つ市民ボランティアが環境学習のお手伝いをする環境学習」「外来植物アレチウリの駆除活動や川魚の産卵床づくりなど、自然の保全や再生活動にも取り組む環境保全・自然再生活動」と、多摩川を軸にすえた多彩な学びを提供してくれています。つまり、学校にとっては有り難いステークホルダーです。

二中ゾーンは、市内小中学校の中でも水辺の楽校が拠点としている場所に近く、身近な地域の特色として多摩川を学ぶにはピッタリです。コミュニティ・スクールになる以前から、六小は水辺の楽校のお世話になっていますが、コミュニティ・スクールになってその良さが三小にも伝わり、今年度の三小5年生の「川流れの学習」になりました。



公園でライフジャケットを付けます。おやじの会やPTAの皆さんが正しく装着されているかをチェックしてくれるので、安心・安全ですね。



多摩川に到着したら、水辺の楽校の方から、「川流れ体験」の目的や注意事項、楽しみ方を丁寧に説明していただきました。



多摩川は大きな川ですが、深さや水量、流れの速さは事前に確認済みです。おやじの会の方々が、要所要所に立って見守ってくれるので安心です。

気持ちよさそうに、川の流に身を任せて流れています。ラッコになった気分？川に落ちた時の安全の学習にもなっていますよ。

